

2021年3月7日京都Congress開会式における

上川法務大臣

議長ステートメント

殿下，閣僚の皆様，各国代表の皆様，

本Congressの議長を務めるという栄誉を私に授けてくださった皆様に改めて感謝を申し上げます。

皆様をここ京都に歓迎致します。この重要な会議に会場又はオンラインでご参加くださった皆様お一人お一人に，心より御礼を申し上げます。

また，前回Congressのホスト国として，ドーハ宣言実施グローバルプロジェクトを通じ，過去6年間の間にめざましいリーダーシップを発揮され，成果を上げられたカタル国に対しても，感謝を申し上げます。

さらに、ニューヨークからオンラインのライブ中継で参加して下さった国連のアントニオ・グテーレス事務総長とともに、本 kongress を開催するために素晴らしい準備をされた、ガーダ・ワーリー国連薬物犯罪事務所事務局長及び本 kongress 事務総長並びに事務局の全ての皆様に、感謝を申し上げます。

閣僚の皆様、

本 kongress は当初 2020 年 4 月の開催が予定されておりました。

その間、コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、250 万人に上る尊い命が失われ、分断が引き起こされました。

感染力の強い変異種も発生しています。

それにもかかわらず、我々は、この5年ごとの重要な会議を開催するという強い決意と粘り強い意思の下、本コンGRESの開催に向けて忍耐強く取り組んできました。

そして本日、我々はついに世界中からオンライン又は来場参加でここに集いました。

この重要なイベントの開会に際し、私から全ての皆様に2つのメッセージがございます。1点目は、コロナ禍におけるコンGRESの重要性について、2点目は、我々の未来の主演としての若者についてです。

閣僚の皆様、

我々は、1955年以来、5年ごとに世界中から1つの

場所に集まり、英知を結集して共通の課題に対処してきました。

本日、我々の共通の目標は明確です。

kongress のマントルをポスト・コロナ時代に向けて前に運んでいくことです。

一方で、我々は未だに我々の連帯を取り戻し、脆弱な人々の命を守ることに苦戦しています。しかし、他方で、我々は、2030年及びその後の社会に向かって、未来に目を向けていかなければなりません。

これからの6日間、我々は、法の支配が貫徹し、誰も取り残されない社会の構築に向け、実行可能な政策と行動について議論しなければなりません。

私は、皆様と共に、この課題に正面から取り組んでいく用意があります。

閣僚の皆様,

第二に、若者についてです。

若者たちは、我々の未来の主役です。この困難な時代には、特にそのことが当てはまります。我々は、若者に創造的なアイデアを共有してもらい、より積極的な役割を果たしてもらう必要があります。

先週この場所で、第14回コンGRESのためのユースフォーラムが開催されました。本日、若者の代表者たちに、その声を我々に届けてもらえることについて、大変嬉しく感じています。

2030年とその後の時代の主役は若者たちです。彼らの声に耳を傾け、世界的な課題であるSDGsの達成に向け、一緒に取り組んでいきましょう。

皆様により充実した議論が行われることを祈念して私のステートメントを終えたいと思います。世界をよりよいものとするために一緒に取り組んでいこうではありませんか。

ありがとうございました。